国立教育政策研究所シンポジウム「生成AI時代の学校教育と教師～人間の果たすべき役割～」
令和8年8月6日

第2部「生成AIと学習：生成AIは学習をどう支援できるか」パネルディスカッション資料
～高校生対象「生成AIの教育利用可能性」に関するワークショップ簡易報告～

国立教育政策研究所
飯窪　真也

概要

今年5月上旬、公立高校1年生54名を対象として下記を実施

- 「学習観と生成AIの利活用」に関するアンケート
- 「学習支援AIの可能性と課題」について、具体的な事例を基に考えるワークショップ

流れ（100分）

①「生成AIと教育／学習」事前アンケート

②「学習支援AIの可能性と課題」について、具体的な事例を基に考える（ジグソー法授業）

③「生成AIと教育／学習」について自分の考えを整理する事後アンケート

事前アンケート(n=54)一部抜粋

	5.ほぼ毎日使っている	4.ときどき使っている	3.使ったことがある	2.使ったことがない	1.わからない
2．普段の生活の中で生成AIを使っていますか？	14.8%	51.9%	25.9%	7.4%	0.0%
3．普段自分の学習のために生成を使っていますか？	11.1%	46.3%	33.3%	9.3%	0.0%
	5そう思う	4ややそう思う	3どちらとも言えない	2あまりそう思わない	1そう思わない
5．生成AIは自分の学習に役立ちそうだと思いますか？	37.0%	50.0%	11.1%	1.9%	0.0%

学習のために生成AIを使っていると答えた方は、どんな使い方をしているか具体的に教えてください。（記述, n=50）

- 分からない問題の解説を聞く　35名
- 自分の解答や文章を添削してもらう　6
- 類題や練習問題をつくってもらう　4
- 疑問や分からないことを聞く　4
- 単語の意味を聞く　3
- 解法のヒントをもらう（答えはきかない）　2
- 翻訳　1
- 具体例や方法を聞く　1

ワークショップの課題

仮説設定お助けくんを開発した教育研究者は「生成AIが仮説を立てるのではなく、…学習者が自身で仮説を立てることが最終的なゴール」だと言っている。でも、本当に生徒が自分で仮説を立てたと言えるのか？お助けくん（AI）と中学生の対話を読んで考えましょう。

（1）　「この学習者は自分が主体となって仮説を立てた」と思いますか？

（2）　筆者（＝お助けくん開発者）は「生成AIとこうした対話を繰り返し、そのやり取りを学習者が振り返ることで、学習者の仮説設定能力が向上する」と主張しています。この主張に賛同しますか、しませんか？　理由は？

「この学習者は自分が主体となって仮説を立てた」と思いますか？（18班中）

そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない
0 (0%)	1 (6%)	4 (22%)	8 (44%)	5 (28%)

筆者（＝お助けくん開発者）は「生成AIとこうした対話を繰り返し、そのやり取りを学習者が振り返ることで、学習者の仮説設定能力が向上する」と主張しています。この主張に賛同しますか、しませんか？（18班中）

そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない
2 (11%)	7 (39%)	6 (33%)	2 (11%)	1 (6%)

筆者（＝お助けくん開発者）は「生成AIとこうした対話を繰り返し、そのやり取りを学習者が振り返ることで、学習者の仮説設定能力が向上する」と主張しています。この主張に賛同しますか、しませんか？（理由）

- この1回について言えば、AIの答えを書いているだけだけど、この経験によってどんな風に考えたらいいかが分かるから
- 生成AIがまとめた答えを書いているだけだと、何回やっても変わらないと思う
- 「そのやり取りを学習者が振り返る」とあるので、振り返ればやり方を学べると思う

事後アンケート(n=52)一部抜粋

	5そう思う	4ややそう思う	3どちらとも言えない	2あまりそう思わない	1そう思わない
２．今後あなたは生成AIを自分の学習に生かしていきたいですか？	34.6%	51.9%	9.6%	1.9%	1.9%

その理由及び活用する場合、どんな活用の仕方をしたいかについて教えてください。

- 自分の意見を持ったうえで生成AIを使うのはいいことだと思ったからです。自分の意見を持って生成AIを使うことで自分とは違う意見も見つけることができていいと思いました。
- すぐに頼るのではなく、自分で考えたうえでAIに補足や訂正をしてもらうなど、ちゃんと自分の学びになる活用の仕方をしようと思った。また、いつも数学の問題をAIに聞くときに、答えも合わせて聞いてしまっていたけれど、解き方やヒントを聞いて、答えは自分で解くようにしようと思った。
- 使うのは便利だと思いますが、自分の意見をしっかり持っていないと自分の力にならないと思ったので、使うのは程々にしようと思いました。あくまで方法や考え方を聞こうと思いました。

考察

- 想定以上（約6割）に（1月前まで中学生だった）生徒は生成AIを学習目的に利用している。その利用方法の大部分は、分からない問題を教えてもらうこと
- 生成AIと生徒の対話を、内容まで踏み込んで細かく読み取り、生徒の思考を想像してみることを通じて、生徒自身にどんな力がついているか／いないかを考察することができた
- その経験を通じて、自身の学習における生成AIとの付き合い方について見直すことができた（例：まずは自分で考えをもつ／AIに手助けしてもらう部分と自分で考える部分を意識する）